(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 13日

秋田県知事 佐竹敬久 殿

提出者

住 所 秋田県由利本荘市矢島町七日町字曲り渕158番地1

氏 名 山科建設株式会社

代表取締役 山 科 優 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0184-55-2211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	山科建設株式会社
事	業場の所在地	秋田県由利本荘市矢島町七日町字曲り渕158番地1
計	画 期 間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
当計	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	建設業・総合工事業・一般土木建築工事 (0611)
	②事業の規模	353,671 万円
	③ 従 業 員 数	109人
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	がれき類: 処理委託 → 破砕 → 再生骨材 木くず: 処理委託 → 破砕 → 木材チップ又は焼却 廃プラ類: 処理委託 → 破砕又は焼却 → プラスチック原料又は埋立 金属くず: 処理委託又は売却 → 鋼製品原料 紙くず: 処理委託 → 破砕 → 製紙原料又は燃料 ガラス・ 陶磁器くず: 処理委託 → 破砕 → 路盤材又は埋立 繊維くず: 処理委託 → 焼却 → 堆肥原料 汚 泥: 処理委託 →埋立 混 廃: 処理委託 →埋立 その他: 処理委託 →埋立

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

① 責任者及び管理組織図

(別紙の通り)

② 管理体制の強化

各工事現場、各部と協力し、産業廃棄物処理に対応するための定期的会議を 開催する。(月に一度、各工事現場担当者及び各部責任者による署長会議)

③ 教育・研修

発生する産業廃棄物の種類、発生状況、処理方法、処理に関する留意事項を整理し、従業員等に定期的に教育・研修等を行う。

④ 情報の公開

産業廃棄物処理に関する信頼性を確保するため、産業廃棄物の発生、分別、 再生利用状況について情報の公開に努める。

	再生利用状 	:況につい	いて情報	の公開	に努める。			
産業	と と と と 発棄物の排出の抑制に	関する	事項					
		【前年	度(3 £	F度)実績 】			
		産業	廃棄物の	種類	別紙の通り			
		排	出	量		t	_	t
	① 現状	・毎月 ・毎・ ・ ・ ・ で に よ に よ に よ に に た に た に た に た り に た り に た り に た り に た た り に た り に り に	資材整理の再利用 の再利用 る資源の	現場パー 里の教育 用による の過剰値	、ロールでの産業廃 育の徹底。	計画江	印制の指導及び、分別 立案の適正化を図るこ	
【目標】								
		産業児	廃棄物の	種類				
排 出 量					t			
	②計画	昨年と		各現場/		の教育	育と産業廃棄物の処理	∄
産業	業廃棄物の分別に関する	事項						
	①現状	廃	プラスラ	チック、	発棄物の種類及び分 ゴムくず、金属く 木くず、紙くず、	ず、カ	ガラス・陶磁器くず、	
	②計画	分	別種類	こついて	D産業廃棄物の種類 ては前年同様。 る分別処理への継続			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
	【前年度(3 年月	医) 実績】			
	産業廃棄物の種類		_		
① 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t		
	(これまでに実施した耳 弊社は、中間処理が ん。		為、特に実施していませ		
	【目標】				
	産業廃棄物の種類		_		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	– t	_ t		
	(今後実施する予定の耳 コンクリートがらの	文組) D砕石としての再利用	の検討。		
自ら行う産業廃棄物の中	間処理に関する事項		,		
	【前年度(3 年月	度) 実績】			
	産業廃棄物の種類		-		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t		
① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	- t	_ t		
	(これまでに実施した耳 弊社は、中間処理が ん。		為、特に実施していませ		
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	_	_		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	– t	- t		
②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	- t	_ t		
	(今後実施する予定の耳	文組)			
	実施する予定はあり)ません。			

自	ら行う産業廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分	に関する事項			
		【前年度(3 年	F度)実績 】			
		産業廃棄物の種類	_			
	① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	_	t	_	t
		(これまでに実施した	上取組)			
		特に実施していま	ミせん。			
		【目標】				
		産業廃棄物の種類				
		自ら埋立処分又は				
	②計画	海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	_	t
		(今後実施する予定の)取組)		10.000	
		実施する予定はあ	5りません。			
産	* 業廃棄物の処理の委託に	関する事項				
		【前年度(3 年	E度)実績】			
	① 現状	産業廃棄物の種類	別紙の通り			
		全処理委託量	_	t		t
		優良認定処理業者への 処理委託量		t		t
		再生利用業者への 処理委託量	_	t	_	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	_	t	_	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	_	t	_	t
		(これまでに実施した 弊社では、中間処理は業者への委託を そのため、処理業者 ている。また、資源 導の徹底を図ってい	1理施設を所有して原則としている。 そとの委託契約を終 での再利用や最終な	帝結し、処	理内容の確認を行	うつ

		【目標】				
		産業廃棄物の種類	別紙の通り			
		全処理委託量		t		t
		優良認定処理業者への 処理委託量		t	_	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量		t	_	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t		t
	計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	_	t
		育の徹底を図ります	資源の再利用・ 一。 フェスト化を実施 の環境整備とぬ	施すると‡ 処理委託第	O削減に関する指導 共に、産業廃棄物の 業者との情報交換を	適切
※事務	务 処理欄					

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

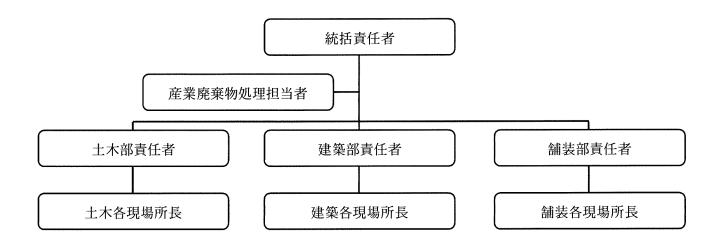
別添內訳書

													数字(t)
		がれき類	*<4	廃プラス チック類	金属くず	ガラスく ず等	紙くず	汚泥	建設混合 廃棄物 (※)	その街	繊維くず	ゴムくず	如
廃薬物の排出の抑制に関する事項	君 古多事項												
①現状 (R3年度実績)	排出量 [A]	3842. 44	398. 04	75. 47	5. 42	20. 51	0. 52	24. 65	0.00	62.09	00 00	00 00	4432.14
②計画 (R4年度目標)	排出量 [8]	3458. 20	358. 24	67. 92	4.88	18. 46	0. 47	17. 26	00 00	58. 58	0.00	0.00	3984.00
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	6生利用に関する事項												
①現状 (R3年度実績)	自ら再生利用を行った量【C】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②計画 (R4年度目標)	自ら再生利用を行う量【0】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	中間処理に関する事項												
①現状 (R3年度実績)	自ら熱回収を行った量 [E]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自ら中間処理により減量する量【F】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②計画 (R4年度目標)	自ら熱回収を行った量【6】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自ら中間処理により減量する量【H】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自ら行う産業廃案物の埋	ら行う産業廃案物の埋立処分又は海洋投薬処分に関する事項												
①現状 (R3年度実績)	自ら埋立処分を行った量【]	0.0	0.0	0.0	0.0	0 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②計画 (R4年度目標)	自ら埋立処分を行う量【J】	0 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0 0	0.0
産業廃菜物の処理の委託に関する事項	モに関する事項							:					
①現状 (R3年度実績)	全処理委託量 [K]	3842. 44	398. 04	75. 47	5. 42	20. 51	0. 52	24. 65	0. 00	62. 09	0.00	00 00	4432. 14
	内訳 優良認定処理業者へ処理を委託した量【L】	0 '0	0.0	0.0	0 .0	0.0	0.0	0 0	0.0	0 0	0.0	0.0	0.0
	内訳 再生処理業者へ処理を委託した量 [M]	3842. 44	398. 04	75. 47	5. 42	00 00	0. 52	0. 00	0.00	0. 00	0.00	0. 00	4321.89
	内訳 認定熱回収業者へ処理を委託した量 [N]	0.0	0.0	0 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	内訳 認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量 [0]	0 '0	0.0	0.0	0.0	0 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②計画 (R4年度目標)	全処理委託量 [P]	3458. 20	358. 24	67.92	4.88	18. 46	0. 47	17. 26	0. 00	58. 58	0. 00	0. 00	3984. 00
	内訳 優良認定処理業者へ処理を委託する量 [0]	0 0	0.0	0 .0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
:	内訳 再生利用業者へ委託を委託する量「R】	3458. 20	358. 24	67. 92	4.88	18. 46	0. 47	17. 26	00 00	58. 58	0.00	0. 00	3984. 00
	内訳 認定熱回収業者へ処理を委託する量 [S]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	内訳 認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量【T】	0 .0	0.0	0 '0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0 '0	0.0

産業廃索物 (特別管理産業廃棄物) 処理計画書

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



(管理組織図)

部門	担 当 責 任 者
統括責任者	総括安全衛生管理者
産業廃棄物処理担当者	総括安全衛生管理者
土木部責任者	土木部 工事部長
建築部責任者	建築部 工事部長
舗装部責任者	舗装部 工事部長